



福岡市佐賀県人会会報



ふくどみマイランド公園 福富町

目 次

表紙	ふくどみマイランド公園 福富町	
平成13年度 総会		2～3
ご挨拶	自由民主党幹事長 衆議院議員 山崎拓氏	4
ふるさとの首長・ふるさと紹介	福富町 喜多輝昭町長	5
特別寄稿	一步一步 宮副博昭さん	6～7
このごろ私は	古川寿寛さん・宮崎静夫さん・江島信行さん	8
郷土の歳時記	(13.9～13.12)	9
佐賀県だより	佐賀新聞社提供	10～11
最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集だより		12

43

2001.7



福岡市
酒井環境局長



佐賀県
川久保副知事

とにかく喉がカラカラです。

カンパイです！

務報告と収支報告、十三年度の予算案などの提示があり、満場一致で了承され、最後に森副会長の閉会の言葉で二十一世紀最初の総会を終了しました。さて、今回は新世紀の総会を祝して、太田信子さんに祝賀の舞を披露披露、乾杯の前の應しのひと時を過ごした後、例によって県人会のハッピーを着た六人衆によって、エイ、エイ、オーの掛け声で鏡が開き、永倉副会長の音頭で乾杯となりました。



辻副会長

明子が唄っている「栄の国」が流れていました。食事タイムが一段落すると今までならここで福引になるのですが今回は、せっかくふるさとの唄ができたので皆さんに覚えて



永倉副会長

まずはビールとばかりに、立て続けに三杯いく豪傑もいたりして、恒例の祝宴が始まりました。県人会は異業種の交流の場です。司会の清村さんから、さかんに名刺交換の誘いがあり、ビールグラス片手に会場内を飛び回っている人もいました。そしてBGMには金沢



森副会長



山下代表理事



太田信子さん
「祝賀の舞」

「皆さん、こんばんは。会長の金子でございます。本日は平成十三年度の総会に多数お越しいただきまして有難うございます。当県人会も皆様の協力をお願いしております。毎回盛会になっておりますが、丁度今から一年前のこの会場で創立五十周年の大会を開催致しましたところ、大勢の皆様のご協力により大変多くのご参加を戴き改めてお礼申し上げます。本日は、一七六名の皆様にご出席戴いておりますが、県人会が年々盛んになっていくようにでございます。さて、最近、福岡・佐賀の交通の便が良くなりまして、佐賀から福岡へ通勤されている方が相当増えているように聞いております。また、今年の十月には百道・福重の都市高速も開通するようで、唐津方面が益々近くなるようです。今日は、政界の皆様も多数お見えでございますが、長年当会の会員としてご参加戴いての山崎先生が幹事長として活躍だと思っております。九州地区の政治家の皆さんの活躍を非常に心強く思っております。七月には参議院選挙もあり、当会の会員の古川先生も出馬の予定と聞いておりますので

(水間)



六人衆による鏡開き



お元気でしたか？



景気はどうですか？



オーイ、お洒っ。

福岡市佐賀県人会総会

平成13年6月8日(金)

於KKRホテルハカタ

るさとの歌として作られた「栄の国」がBGMとして流れていました。さて、例年通り井上理事の司会で総会が始まり、最初に辻副会長の開会の言葉として、「二十一世紀に入ってから政治が俄然面白くなってまいりました。少しでも明るい方に変わればという期待を込めながらこの会の開会を宣言します。」と述べられて、金子会長の挨拶に移りました。



金子会長

「皆さん、こんばんは。会長の金子でございます。本日は平成十三年度の総会に多数お越しいただきまして有難うございます。当県人会も皆様の協力をお願いしております。毎回盛会になっておりますが、丁度今から一年前のこの会場で創立五十周年の大会を開催致しましたところ、大勢の皆様のご協力により大変多くのご参加を戴き改めてお礼申し上げます。本日は、一七六名の皆様にご出席戴いておりますが、県人会が年々盛んになっていくようにでございます。さて、最近、福岡・佐賀の交通の便が良くなりまして、佐賀から福岡へ通勤されている方が相当増えているように聞いております。また、今年の十月には百道・福重の都市高速も開通するようで、唐津方面が益々近くなるようです。今日は、政界の皆様も多数お見えでございますが、長年当会の会員としてご参加戴いての山崎先生が幹事長として活躍だと思っております。九州地区の政治家の皆さんの活躍を非常に心強く思っております。七月には参議院選挙もあり、当会の会員の古川先生も出馬の予定と聞いておりますので

皆様のご協力を宜しくお願い致します。今、小泉政権になりましたが、自民党に追い風が吹いておりますが、チョッとしたことで世の中は変わるんだという感じがします。不景気だと言いますが、何が不景気なのかよく分かりません。子供まで携帯電話を持っています。時代です。不景気の傾向がどんなものか理解に苦しみますが、全般的に安定はしていると思えます。マスコミ等の報道でチョッとダウンすると、何ヶ月売上ダウンとか書かれますので、あんまり恐ろしい感じがして心掛けております。今日、先ほど故郷の歌として「栄の国」の歌の紹介がありました。この四月に古野ヶ里の歴史公園が誕生して開園式のイベントなどもあり、立地的に福岡・佐賀・長崎のルート上なので観光客も増えているように聞いております。一方、福岡では今年の夏に世界水泳が開催されます。また、今日も博多座の社長がお見えでございますが、毎月趣の異なる公演で劇場の切符が手に入らないこともあり、劇団四季のミュージカルでもなかなか切符が手に入りませんが、これも、交通の便がよく

なり、さらに熊本・山口・佐賀・長崎方面からも多くのお客さんが来ているせいだと思えます。これはダイエー・ホークスにしても同じだと思えます。これからもそのようなお客さんが来れば佐賀県人会は安泰ではないかと考える次第でございます。本日は、総会でございますので、他に皆様にお計りの事項もございまして、挨拶はこの位に致します。ありがとうございます。続いて、来賓の紹介に移り衆議院議員の山崎拓氏(代理)・坂井隆憲氏(代理)、参議院議員の陣内孝雄氏、県議会より古川忠氏・堀宏行氏、福岡市議会より川上義之氏(代理)・小島久弥氏(代理)・太宰府市議の岡部茂夫氏、また、佐賀県より川久保副知事、佐賀商工会議所会頭の長沼富士夫氏、佐賀新聞社の古田広告局長、多久市の横尾市長そして福岡市環境局長の酒井勇三郎氏にお越し戴きました。続いて、ご来賓の中から古川議員、川久保副知事、坂井局長、吉田局長の四氏にご挨拶を戴き、それぞれ現状をご報告戴き、そのあと議事に入りました。山下代表理事より平成十二年度の業

「大地が微笑む
潮風が夢呼ぶ」

福富町

ふるさと紹介

福富町
喜多輝昭町長

日本一の下満の差を有する有明海沿いのどかな田園風景が広がる福富町には、その名の通り「福」と「富」があふれています。

佐賀平野の中核を担う福富の大地を空から見ると、目のように区切られた平野に青々とした田園が広大に広がります。町を鮮やかに彩っています。その豊かな大地は豊富な農作物を産出し、農業の町として発展してきました。

最近では、ソフトとハードの両面から様々な施策を実施しています。県内トップクラスの農業生産を誇る「我が町の農業」に対する振興策はもとより各種産業の新規就業者への支援事業、若者の定住促進対策として

の分譲住宅団地の整備等を行っています。

また、毎年都市部との交流事業を「れんこんの穴から未来が見えるinnふくどみ」と題して開催しており、平成9年度から行っているこの事業での参加者は二七八名を数え、特に福岡地区からは一八六名の数多くの皆様から福富町の民家にホームステイされました。れんこん係留など私たちの故郷ふくどみでしかできない体験を皆様方も満喫されてみてはいかがでしょうか。

福岡・北九州地区内でも当町は産物消費宣伝事業を積極的に行っており、平成8年に開設した福富町産物直売所の特産品の販売を中

心に数多くのイベントを毎年開催しています。

これからも福岡地区の皆様との交流を行いながら、

ふるさと紹介
福富町

福富町は佐賀市の南西に車で30分程の有明海沿いに位置しています。

町は、過去7次による干拓で出来た町で、標高1メートル内外という平坦な地形の純農村です。その干拓の歴史を後世に伝え、新しい魅力ある町づくりを目的のひとつとして建設されたのが「ふくどみマイランド公園」。

公園内には、福富の干拓の歴史を展示した「ふれあい干拓館」や子供たちが冒険気分楽しく遊べる「わんぱく広場」があり毎日、たくさんの子供たちが賑わっています。

そしてこの公園のもうひとつの目玉が7階建ての展望台。高さ18メートルの最上階からの眺めは抜群！東は有明海、西は杵島山、

福富の良さや福富らしさを大切にし、21世紀を見据えた未来志向の活気あるまちづくりをすすめます。

福富の良きや福富らしさを大切に、21世紀を見据えた未来志向の活気あるまちづくりをすすめます。

南は多良岳、北は天山、三百六〇度のパノラマが広がります。五月初旬になると有明海に注ぐ六角川沿いの「むつごろう保護区」にはたくさんのお花が顔をだし始めます。

特に五月から六月の産卵時期には背ビレをいっばい広げて求愛しているむつごろうを見ることが出来、その愛嬌のあるその動きをレンズに捕えようとたくさんカメラマンが訪れます。

ほかに、れんこんをはじめとした福富町の新鮮な特産品や農産加工品・有明の魚介類も販売している「福富町産物直売所」や9mを越えるニシキヘビの皮が奉納されている「龍神社」など見所いっぱい福富町へ遊びに来られてはいかがでしょうか。

発売以来大好評のカロラ!

COROLLA

あなたの新しい
TOYOTA トヨタカロラ福岡

本社/福岡市中央区長浜2丁目1番5号
 お客様相談センター 0120-419331 (24時間)
 ホームページアドレス http://www.toyota.co.jp/c-fukuoka/

自由民主党幹事長
衆議院議員 山崎 拓氏

ご挨拶



毎日暑い日が続きますが、福岡市佐賀県人会の皆様におかれましては、ご清栄にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

自民党幹事長の重任をお引き受けすることとなりました。

長年にわたる皆様の温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

小泉純一郎総理は、私の同僚の桜であり、三十年の国政生活にわたり清廉を以て身を持してきた政治家であります。

そして、経済不振からの脱却は野放図な財政支出にのみ依存するのではなく、二十一世紀の日本

本年四月に行われました自民党総裁選挙におきまして、国民の圧倒的な支持のもと小泉純一郎氏が自民党総裁に選出され、その後の国会の首班指名選挙において、小泉新総理が誕生いたしました。私は、小泉新総裁の就任にともない

今日我が国をとりまく内外

の情勢は非常に厳しいものがありますが、この上は国民の圧倒的ご支援にお応えすべく、私も小泉総理とともに最大の政治課題であります景気対策と構造改革の断行、さらには党の命運を占う七月の参議院選挙に對し全力で取り組み、信頼される政治の回復と活力ある日本の実現を目指して頑張る決意です。

また、私は二十一世紀最初の憲法記念日を期して「憲法改正——道義国家を目指して」と題する本を出版いたしました。改憲論議は衆参両院の憲法調査会ですでに始まっておりますが、現在の憲法が制定された当時（一九四六年）から、社会経済状況が大きく変化した今、新しい価値観の下で、国民は新しい国家目標を見定めなければならぬと確信いたします。それには、憲法改正論議を国

民レベルで盛んにすることが大切であり、そのことが「憲法」の存在を国民のなかに定着させると同時に、二十一世紀における日本の新たなアイデンティティを創造するという意義をもつことになると信じます。

小泉総理が主張する首相公選制も憲法改正を伴う難しいテーマではありますが、このテーマも含めて全テーマにわたって憲法改正の実現に取り組んで行く所存です。

「改革断行」を旗印として、小泉内閣が始めたとしておりますが、「改革」には、国民一人ひとりの努力と理解が必要です。今後二層のご指導とご協力を切にお願い申し上げます。

最後に、福岡市佐賀県人会の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

特別寄稿

一歩、一歩

四国霊場八十八ヶ所 (1)

一、二〇〇キロ全行程徒歩巡拝
(連続三十九日間) 宮 副 博 昭

「はじめに」

私は約二年前の九月から十月にかけて、連続三十九日間を費やして四国霊場八十八ヶ所千二百キロを一人で歩いて巡拝させていただいた。途中交通機関を利用したのは、高知県浦戸湾の県営渡船と、四万十川河口の渡しだけである。二つの乗船時間は合計約十分間ぐらいで、料金は百円のみであった。また、歩行中に何度もありがたい「車のお接待」の申出があったが、事情を話して丁重にお断りをさせていただいた。

いつの頃からだったろうか、八十八ヶ所を歩いてみたいと考え出したのは。はつきり覚えていない事は二つある。一つは「遍路道保存協会」の本に出会った事。二つ目はNHK TV番組を見てからである。

二年前の五月、二十年間の福岡市議活動を退任させていただいた。心に一区切りをつけるためにも、何か記念になることをしてみたいチャンスはこの時機だと思い、歩いて巡拝する事を決意した。九月の決行を決め「協力会」の本を参考に、九月七日と八日の宿の予約を入れた。

三十九日間の道中で四国の人々や遍路仲間、そして大自然との感動的で劇的な出会いが数々あり、思いがけない数々の物心両面にわたる「お接待」や、大自然の励ましを全身にいただき、おかげ様で結願(けちがん)できた。感謝している。まさに一期一会の連続であった。

大都市圏に住む私にとって、忘れていたものを思い出させ、人間とは何かを考えさせてもらい、今後の人生に一番大切な支えとなるものをい



7日目の9月14日、熱帯低気圧接近中のなか徳島県最後の23番樂王寺に到着

ただいた気持である。そして、道中、一番感じたのは「遍路はすべて自己責任」という事である。団体ツアー等、車で巡拝するのとは違って、一日に歩く距離、宿などすべて自分の体やお足様と相談して決めなければならぬ。つまり他人のせいにする要素は何一つないのである。

何人もの人から「歩いて廻る、そのこと自体が人間としての修業ですよ」と言われた事が、日毎に理解できるようになった。

峠越えの険しい山道、山岳にある寺への登り坂、雨の降りしきる道中など、不思議に自然と「南無大師遍照金剛」と大声でとなえるようになった。そして、その声と金剛杖が道面を打つ音と鈴の音とに自分自身が励まされ、勇気づけられて前へと進んだ。

師堂でのお参りは、お叱りを受けるかもしれないが、般若心教ではなく自分流に行なった。「〇〇番まで導きいただき誠にありがとうございます」と導き、願わくば八十八番へ結願できますよう重ねてお願い申し上げます。家族の健康についても宜しくお願い申し上げます。さて私は本年五月をもって二十年間の議員活動を退任させていただき、今日までご支援をいただいた方々のおかげで議員活動を続けることができました。ここに厚くお礼申し上げますとともに、今後のお導きを宜しくお願い申し上げます。南無大師遍照金剛……ざっとこの様なお参りの連続であった。従って政治活動への区切りと二千年代への新しいスタートの意味もこめた、いわばお礼を兼ねた巡礼の旅であった。

「全行程と距離、宿」
●徳島県二十三ヶ所、二〇九キロ―九月八日―十五日。
●高知県十六ヶ所、四一五キロ―九月十六日―二十八日。
●愛媛県二十六ヶ所、三八〇キロ―九月二十九日―十月十日。
●香川県二十三ヶ所、一五四キロ―十月十一日―十五日。
●八十八番から一番へ、四十四キロ。十月十六日。以上、徳島県鳴門市の一番を起点に、時計まわりで一週。一日の徒歩距離は十四キロから四十三キロ。宿は民宿、宿坊、農家の無料接待所など。二食付六千円前後。

「一日の行程」

午前六時、朝食。七時前後に宿出発。徒歩と巡拝、お寺の滞在時間、約二十分。午後四時―五時頃、宿に到着。まず洗濯と風呂。六時夕食。夕食後、翌朝までは翌日の歩く距離や宿の予約、日記つけ等を地図を見ながら考える。

「日常との断絶」

九月七日の出発前、妻には家や会社の実印、通帳を全部渡し、「万一、私の身に何かあったら、すべて君にまかせから、どう処分してもいい」旨を伝えた。携帯電話は

持参するが、よっぽど緊急時以外は一切しないよう、また、私からもしない旨を伝え博多駅へ。駅では通勤、通学の人達で混雑していたが、その人達には何か悪いような、我がまま、ぜいたくな気持になつた。初日は、一番霊場門前の「つしまや」に宿泊し、巡拝用品等を購入。翌日から歩き遍路に備えた。

夕食は歩き遍路二回の上松氏(七十才)、長尾氏(七十五才)の二人の男性と一緒に、特に上松氏は六十五才の時一度歩いて以来との事。上松さんからは「世間の事は一切忘れることよ。氣力、根性で」と励まされた。打ち始めの初宿の上松さんとの出合いは、私にとって幸運としか言いようがなかった。この時以来、新聞を読みたいとか、テレビを見たいと思わなくなつていった。

「お接待と接待」
お接待と接待とはどのようなものでしょうか。接待は相手から何らかの見返りを期待する行為で、言い換えれば下心のある行為です。一方、お接待は相手からの何らかの見返りを求めない純粋な気持から出る行為です。

四国には、その「お接待」という風習が昔からあります。お遍路さんに、食物、金銭等を提供したりすることです。また、道に迷った人に道順を教えること、車社会に入つて車に乗せてあげること等々、これも立派なお接待です。

お接待する人は自分で八十八ヶ所を廻った人もいます。が、たいがい経験のない人です。お遍路をできない自分の氣持をたくしたり、無事で巡拝して下さいと祈る思を持つことによつて、心豊かになるのだと思います。

私は一、二〇〇キロの巡拝中に、たくさん「お接待」をいただきました。その時の感動や感謝の氣持を文章で表わすことは、なかなかできません。ただ言えることは、この感動や感謝の氣持が次のお寺へと歩いていく力になったことだけは事実です。都市や実社会では、けつして味わえない「心豊さ」が歩かしていただくエネルギーなのです。

以下、四国四県に別けて体験したことを書いていきます。が、霊場そのものの風景や姿などについては、それなりの人達が本にしていますので、本屋で見下さい。表現力豊

かに出版されていますから。

「徳島県、二〇九キロ編」

一日目、九月八日、一番から七番の宿坊までの十七キロ。朝はまだ暗いうちから目覚めた。いや目が覚めたと言ふより眠れなかったのだ。遍路道の地図を何度も開いたりザックの中身を点検しながら歩く姿を思い浮かべていたからだ。宿を出て歩き出すと、九月の太陽は強くむし暑く、ほどなく体中が汗ばんできた。

歩行初日で遍路標識と地図を見比べながら、自分の遍路姿が他の人からどう見られているか等、考えながら歩いた。が、まだはずかしいの氣持があるようだ。またザックの重量のせいか、肩が痛むので時々ザックを上下、左右へ揺らして肩への負担を和らげた。田の細いあぜ道等も通っていく、あぜ道では金剛杖で前方の草むらたをたいて蛇がいないことを確認しながら歩くので足取りも少々遅くなつてしまった。

昼食後、歩き出すと前方に一人の遍路さんが見えて来た。時々立ち止まって地図を見ながら付近の様子を確認しているが、多分初めて歩く人だろう。この人、横浜の松永

さん(五十五才)。休みを利用して徳島県の二十三ヶ所を巡拝するとのこと歩き遍路のことやお寺のことよく勉強されており、何かと教えてもらった。また歩き遍路同志という仲間意識や価値観からか、さらに宿も七番十番寺の宿坊とのことで、すぐに長い付き合ひの仲間となつた。

宿坊では、準備してなかった洗剤をもらったり、特にザックの荷物については「不要と思うものは、思い切って家に送つて、量を軽くしないと八十八ヶ所歩けないよ」とアドバイスを受けた。早速不用なものは宅配便で自宅へ送付した。夕食は長尾さんも含んだ三人だけで、二百人は一同に会食できる大広間の大師像の前で食べた。

二日目、朝六時、三人だけで本堂で朝のおつとめをする。松永氏と二人で朝食後出発したが、背中のザックが軽くなり実在にありがたかった。歩き出して間もなく、野宿した二十二才の石川さんと合流することとなった。九番法輪寺境内の茶店で、焼き芋やお饅頭のお接待をうけたり、昼食時にはオレンジの、道に迷



阿波 徳島県

った時はお茶屋のおじさんが手書きのコピー地図で教えてくれた。洗剤を買いに入つたスーパーでは、小袋入り洗剤をたくさんいただいた。と、「お接待」の連続だ。途中、あばれ川の吉野川を渡つたりしながら、宿の十一番の門前の民宿ふじやに到着。到着後すぐすることは洗濯だ。汗びっしょりの服を脱ぐ時の爽快感は何とも言えず幸だ。次に風呂へ。冷水を何杯も浴びるがこれも幸だ。歩いた人でないと服を脱ぐ時と風呂に入る時の爽快感は味わえないのだ。(遍路についての問い合わせは〇九〇―一三三二―九九九六、宮副博遠慮なくどうぞ)

郷土の歳事記

- 9月
- 1日 田ほめ (鳥栖市)
 - 1日 二百十日祈願 (鹿島市内)
 - 1日 愛宕神社風まつり (牛津町)
 - 1日 ブルースカイフェスタ (青根村)
 - 第1日曜日 母の日の面立 (鹿島市)
 - 第2日曜日 音成の面立 (鹿島市)
 - 第2日曜日 太良嶽神社秋祭 (太良町)
 - 12日に近い日曜日 江見神社 (三根町)
 - 上旬 かけ参り (有明町)
 - 15日 放生会 (北茂安町千栗八幡宮)
 - 15日 行列浮立 (北茂安町)
 - 15日 星嶺浮立 (鹿島町)
 - 15・23日 広瀬浮立 (鹿島町天山神社)
 - 19日 天山記念祭 (多良市・富士町・小城町・鹿島町・相知町)
 - 20日 八幡神社夜祭 (牛津町)
 - 中旬 唐津焼展 (唐津市)
 - 中旬 T A K E O 世界一登壇まつり (武雄市竹崎キルンの森公園・飛龍窯)
 - 中旬 産業祭 (諸富町)
 - 中旬 古湯映画祭 (富士町)
 - 中旬 10月10日 S A R I コスモス遊園 (相知町)
 - 21日 白木孔子祭 (江北町)
 - 22日 泥もちつき (太良町)
 - 23日 天川浮立・鳥越浮立 (鹿島町)
 - 23日 行列浮立 (中原町)
 - 23日を前後に5日間
 - 秋分の日 高瀬・宇土手・中野の荒踊り (武雄市)
 - 秋分の日 袴野面立 (武雄市)
 - 秋分の日 御神幸祭 (基山町荒徳神社)
 - 秋分の日 観音の満徳屋まつり (七山村)
 - 24日 旗おろし神事奉納相撲大会 (中原町)
 - 27~29日 大町ソウケ市 (大町町本町)
 - 下旬 名月パンコまつり (武雄市)
 - 下旬 納所住吉神社御神幸祭 (肥前町)
 - 1日 八洲 (有明町海童神社)
 - 第1土・日曜日 中島山笠祭 (鹿島町)
 - 第1日曜日 青根渡流まつり (青根村)
 - 10日 府指浮立 (伊万里市南波多町)
 - 10~12日 日暮さん (佐賀市松原神社)
 - 旧暦8月25日 鳥巣天舞舞浮立 (浜玉町)
 - 旧暦8月25日 大屋敷浮立 (七山村)
 - 10~10月の土・日曜日
 - 上旬 佐賀歴史街道フェスティバル (佐賀市)
 - 上旬 虹の松原ファミリーマラソン大会 (唐津市)
 - 上旬 虹の松原サーチ&ウォーキング (唐津市)
 - 上旬 丹波の里レディースロード大会 (多良市)
 - 上旬 海童神社・松枝神社秋祭 (川副町)
 - 上旬 産業まつり (七山村)
 - 上旬 綱釣り大会 (肥前町)
 - 上旬 大野神社御神幸祭 (肥前町)
 - 12日 高志狂言 (千代田町高志)
 - 15日に近い日曜日 村田浮立 (鳥栖市村田町八幡宮)
 - 14~16日 五の宮神社秋祭 (鹿島市)
 - 16日 八幡神社の御幸祭 (玄海町)
 - 16日 有田供日 (有田町)
 - 17日 有田皿山まつり (有田町)
 - 18~19日 田楽と秋祭 (佐賀市白髪神社)
 - 19日 値賀神社秋祭 (玄海町)
 - 19日 八幡神社秋祭 (牛津町)
 - 19日 くんち (北方町、有明町福佐神社、芦刈町乙宮神社、福岡町福富神社、白石町泰山神社・六角神社、大町町八幡神社、江北町、武雄市潮見神社)
 - 第3土・日曜日 相知くんち (相知町)
 - 中旬 金立公園コスモス祭 (佐賀市)
 - 中旬 三重獅子舞、太田浮立 (諸富町)
 - 中旬 堀ほしフェスタ in くぼた (久保田町)
 - 中旬 大願寺浮立、平野浮立、池上浮立、樽田浮立 (大和町)
 - 中旬 市川天舞舞浮立 (富士町諏訪神社秋祭)
 - 中旬 くんち (小城町天山神社)
 - 中旬 クロスカントリー大会 (浜玉町)
 - 中旬 星賀八幡神社御神幸祭 (肥前町)
 - 中旬 豊公祭 (鎮西町広沢寺)
 - 20日に近い日曜日 手佐の宮浮立、西の宮浮立、矢俣の宮浮立 (三根町内)
 - 20日に近い日曜日 四阿屋神社の御田舞 (鳥栖市上町老松宮)
 - 第3日曜日 市民健康福祉まつり (鳥栖市)
 - 第3日曜日 孔子祭、多良聖廟秋祭 (多良市)
 - 第3日曜日 香椎神社秋祭 (久保田町)
 - 22日 三島神社秋祭 (玄海町)
 - 22~23日 武雄温泉秋まつり (武雄市武雄神社)
 - 22~24日 伊万里トントン祭り (伊万里市)
 - 25日に近い土・日曜日 米多浮立 (上峰町老松神社)
 - 第4日曜日 芦刈ムツゴロウロードレース大会 (芦刈町)
 - 最終日曜日 棚田とつこ積みフェスティバル (西有田町)
 - 29日 くんち「流鏝馬」 (山内町)
- 11月
- 1日 華厳神社秋まつり (姫野町)
 - 1~2日 三嶽神社秋まつり (鹿島市)
 - 1~3日 お茶と温泉祭り (姫野町)
 - 1~5日 錦崎温泉秋まつり (伊万里市)
 - 2~3日 琴路神社秋祭 (鹿島市)
 - 2~4日 唐津くんち (唐津市)
 - 3日 くんち (佐賀市堀江神社、丹生神社、塩田町八幡宮、志田神社、味島神社)
 - 3日 森林の里文化フェスティバル (青根村)
 - 3日 提燈大護摩供 (青根村青根神社)
 - 3日 東青根村ふるさと祭、文化祭 (東青根村)
 - 3日 小城町ふるさと祭 (小城町)
 - 3日 三日月町ふるさとふれあい祭 (三日月町)
 - 第1日曜日 千代田町ふな釣大会 (千代田町)
 - 第1・2日曜日 ふさと茂安祭 (北茂安町)
 - 10~11日 大町・長崎街道かこき競争 (大町町)
 - 10~12日 唐津焼発祥の地「岸岳まつり」 (北波多村)
 - 第2土曜日 猪の子綱引き (鎮西町)
 - 第2土曜日 みんなで走ろうマラソン大会 (鹿島町)
 - 第2土曜日 風のふもとスケッチ大会 (鹿島町)
 - 第2土・日曜日 北方町産業まつり (北方町)
 - 第2土・日曜日 北波多ふれあいフェスタ (北波多村)
 - 第2土・日曜日 肥前町産業文化祭 (肥前町)
 - 第2土・日曜日 風のふもとまつり (鹿島町)
 - 上旬 佐賀国際ナショナルバルーンフェスタ (佐賀市)
 - 上旬 菊花展 (川副町)
 - 上旬 三根町浮立の里祭り (三根町)
 - 上旬 牛津町産業まつり西の浪花の復活祭 (牛津町)
 - 上旬 佐賀神社祭 (鹿島町)
 - 上旬 陶都百田ロードレース大会 (有田町)
 - 上旬 茶わん祭 (有田町)
 - 上旬 第10回べったんこ祭・有明町文化祭 (有明町)
 - 上旬 たらふもと祭 (太良町)
 - 上旬 シチメンソウ紅葉見頃 (東与賀海岸)
 - 11日 産業祭 (大町町)
 - 11~12日 中原町きてみん祭 (中原町)
 - 第2日曜日 川副町フナ釣り大会 (川副町)
 - 15日 お日待ち (鹿島市、藤津郡、杵島郡有明町)
 - 15~23日 九尾龍祭 (神埼町)
 - 15日以降の近い日曜日 石場奉納相撲 (有田町)
 - 第3日曜日 北波多ロードレース大会 (北波多村)
 - 20日前後 国際交流杯わき大会 (大和町)
 - 中旬 鎮守のまつり (山内町)
 - 中旬 まんねんね祭 (相知町)
 - 中旬 東与賀町干潟ロードレース大会 (東与賀町)
 - 中旬 にげもち (西有田町山田下木村)
 - 22日 玄海10キロロードレース大会 (玄海町)
 - 23日 久池井浮立 (大和町)
 - 下旬 民陶火まつり (武雄市黒牟田)
 - 下旬 吉野ヶ里炎祭り (三田川町)
 - 下旬 ふもと鎮西まつり (鎮西町)
 - 下旬 辰まつり (姫野町吉田)
 - 下旬 12月上旬 湯のまち武雄の物産まつり (武雄市)
 - 30日 お灯夜 (東青根村坂本地区)
 - 未定 長崎街道まつり (佐賀市)
 - 1日 山寺まつり (伊万里市)
 - 第1日曜日 相知10キロロードレース大会 (相知町)
 - 初卯の前夜 取り追い祭り (伊万里市二里町)
 - 7日 佐賀祭 (川副町)
 - 7~8日 鹿島市特産品まつり (鹿島市)
 - 8日 お火つき (鹿島市祐徳神社)
 - 第2土・日曜日 まほろば祭 (大和町)
 - 第2日曜日 ばたん緑の丘クロスカントリー大会 (肥前町)
 - 第2日曜日 川上峠ロードレース大会 (大和町)
 - 17日 日の隈ロードレース大会 (神埼町)
 - 20日 山の神祭 (東青根村水山)
 - 中旬 子供クリスマス茶会 (鎮西町)
 - 2番つひの日 お火つき (塩田町八天神社)
 - 23日 花火大会 (武雄市)
 - 26日 お火つき (有明町福佐神社)
 - 31日 プリ祭 (佐賀市佐賀神社)
 - 31日 除夜の鐘 (東青根村修学院)
 - 下旬 収穫祭 (川副町農業大学校)
- 12月
- 20日に近い日曜日 手佐の宮浮立、西の宮浮立、矢俣の宮浮立 (三根町内)
 - 20日に近い日曜日 四阿屋神社の御田舞 (鳥栖市上町老松宮)
 - 第3日曜日 市民健康福祉まつり (鳥栖市)
 - 第3日曜日 孔子祭、多良聖廟秋祭 (多良市)
 - 第3日曜日 香椎神社秋祭 (久保田町)
 - 22日 三島神社秋祭 (玄海町)
 - 22~23日 武雄温泉秋まつり (武雄市武雄神社)
 - 22~24日 伊万里トントン祭り (伊万里市)
 - 25日に近い土・日曜日 米多浮立 (上峰町老松神社)
 - 第4日曜日 芦刈ムツゴロウロードレース大会 (芦刈町)
 - 最終日曜日 棚田とつこ積みフェスティバル (西有田町)
 - 29日 くんち「流鏝馬」 (山内町)

10月

このごろ 私は

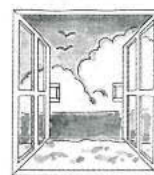
福岡富士町会の

一員として

古川 寿寛さん



福岡と佐賀は隣り同志、親類みたいなものでライバルと云うより励まし合い助け合いの人的交流経済的交流は隣県他県とはどこか異なる気がする僕が佐賀出身であるだけでなく福岡で佐賀を熱く語る人達の考え、思い、言葉使いにその思いのニュアンスが随所にある。そう云う意味で又交関係意識的積極的に推進する事がお互いに活気あるし楽しいと思う。それもまず個から社会に広げたいと思う。佐賀県人の一人として考え方が違っても知れないけど例えば佐賀空港は何故造られたのかなあと思う他の県に在るからなのか？佐賀の生産物は福岡で消化され例えバゴルフ場の殆んどが福岡のお客様が活用している気がする。県対県の友好関係係報交換を素直に行い人間関係の中で成果を上げるのが今の社会状況では一番大切な行政改革の様な気がする。僕は今福岡富士町会の会員ですが大きな関連関係は出来ないう福岡の地でヘアービジネスを来しに居ります。富士町会のあの和気合々古里の想出、仕事の話、家族の話等親睦交友関係の輪を、佐賀県人会に融合出来る事を楽しみに活動したいと思う。



昨年7月、2度目の福岡支店勤務で、右往左往しているうちに早いもので一年が経とうとしているところです。一度目は、昭和47年、その後、佐賀に転任するまでの足掛け8年の間には、結婚と長男の誕生、等々印象深い出来事が多く、最近、行く先ごとに当時の出来事の一つ一つを懐かしく思い出しているところです。また「県人会」では、「福岡うれしの会」では、同郷の懐かしい先輩、後輩、さらに、同級生と昔話を肴に酒を酌み交わす等、楽しい時を過ごすことができ、会の集いに感謝しているところです。ところで、今年で53歳、正直なところ「いつの間にか」と言う実感である。プライベートの面では、仕事

「探しもの？」

宮崎 静夫さん



中心の生活パターンが長く続いたこともあり、いろいろ経験したもの今一つ打ち込める(熱中)ものに巡り合えない。ここには(福岡)、何かあるような気がする、焦らず、その何かを探し続けているところです。

父のおかげで

江島 信行さん



今の会社に勤めて早いもので二十五年経過、そのキツカは父の旧鹿島中の同級生の方のご縁があったからである。佐賀大学を卒業後一旦就職したが、うまくいかずブラブラしている時にその方の引きで現在勤めている会社にお世話になることとなった。

早良興業株式会社
姪浜自動車教習所
(鹿島市出身)



大衆文学賞に小沢氏

第八回九州大衆文学賞の「大賞」は茨城県岩間町、小沢真理子さん（四二）の

は母屋と東の蔵で、江戸時代後期。「母屋はくどづくりの最も発達した姿を伝え、大規模民家の全体構成を知る上で貴重」と評価された。また、旧田中丸家は、大正時代初期、玉屋の創業者田中丸善蔵が建てた邸宅。建築面積四百十平方メートル。豪壮な外観と、繊細な数寄屋風の内部が特徴だ。



前田家



旧田中丸家

『雨の樞（ひつぎ）』に決まった。佳作は東京都杉並区、河原守和さん（三四）の『配流（はいりゅう）』と、兵庫県神戸市、雨音矢さん（五八）の『本名・葛谷実』の『銀がたき』、県内最優秀作の奨励賞には伊万里市二里町、多岐わたるさん（四二）の『本名・脇山幸子』の『欠落』が選ばれた。

今回は全国三十六都道府県とカナダから、過去二番目に多い二百六十三編の応募があり、候補に残った六編について作家の笹沢佐保、森村誠

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより



給食に国産小麦パン

国産小麦で作ったパンの給食が四月十日から佐賀市の小学校で始まった。輸入農産物の残留農薬問題をきっかけに、同市教委が導入に踏み切った。国内で消費されるパンのほとんどが輸入小麦粉で作られている中、他市町村の注目を集めそう。また、市内の業者が焼き上げた。児童たちにも「ちよっと甘くて柔らかい」と評判はますます。市教委では今後、地元産小麦の配合やパンに向く品種の市内作付けを市とも検討する考えで、「地場農産物の域内消費推進に結び付けたい」としている。

4つ子ちゃん入学

杵島郡大町町の小学校に四月十一日、かわいい四つ子が真新しいランドセルを背負って入学した。同町の会社員大串寿隆さん（三九）、ゆかりさん（三六）夫婦の長女瑞奈ちゃん、長男拓磨君、二男佑磨君、二女瑠奈ちゃん。四卵生児で、一九九四年十二月に生まれた。当時は一千百一十六の未熟児だったが、その後はすこやかに成長。大串さん夫婦は「子育ての苦労や楽しさは四倍でした」と感慨深げ。今春の新入学児童は県内で九千二百五十人。県によると、四つ子の入学は「県内ではおそろしく初めて」。四人は

来館100万人

県立名護屋城博物館（東松浦郡鎮西町）の入館者が五月六日、百万人を突破した。百万人目の井筒佳雄さん（四七）は熊本市には井本勇知事から認定証と記念品（置き時計）が贈られた。日本と朝鮮半島との交流史を紹介している博物館は一九九三年十月三十日に開館。九八年度に常設展の入場料を無料にしたこともあって、現在は年間十三万人程度の来館がある。日韓交流の拠点としての役割も果たしており、韓国からも年間約三千人が訪れている。記念式で、井本知事が「また、何度でも来て下さい」と声をかけると、前田さんは「呼子に行く途中になにげなく立ち寄ったのにびっくり」と笑顔を見せていた。

この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。

「能古見」グランプリ

月刊情報誌の「特選街」（マキノ出版）が実施した「第二十七回全国日本酒コンテスト」の純米酒部門で、鹿島市の馬場酒蔵（馬場第一郎社長）の「純米吟醸 能古見」がグランプリ（一位）に輝いた。

「能古見」は地元産山田錦を五〇％まで磨き上げ、太良山系の伏流水で仕込んだ酒で、やや辛口ながらもまろやかな口当たりが特徴。審査に当たった作家の稲垣真美さんは「含み香が優れ、味わいも満点」、清酒評論家の立松朗さんも「優雅な含み香が最高」と絶賛した。

馬場社長は「うまい」という消費者の声を聞くため、妥協せずに頑張ってきた成果。これからはコメの持つまみを最大限に引き出した」と喜んでいる。



沖田選手に大賞

第十八回佐賀新聞スポーツ賞の表彰式が二月八日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で行われた。

大賞は昨年十月の日本学生水泳選手権二百メートル平泳ぎで日本新記録をマークした沖田祥章選手（二二）佐賀学園鹿屋体育大Ⅱが選ばれた。

特別賞には一月の全国高校ラグビー大会で、過去最高の準優勝に輝いた佐賀工高ラグビー部と、シドニーパラリンピックで銅メダル獲得した女子車いすバスケットチームの八島京子選手（二三）を選出、指導者部門では五輪選手を育成した厳木高アーチェリー部の田中伸周監督（三五）と、日本一のスプリンター二人を育てた佐賀北高陸上部の松永成日監督（三二）が受賞した。



成績は次の通り。
①佐賀市15時間52分21秒②杵島15時間58分30秒③神埼16時間2分59秒④伊万里16時間5分9秒⑤小城16時間18分21秒⑥佐賀郡16時間21分4秒⑦武雄16時間22分3秒⑧鹿島16時間31分6秒⑨東松浦16時間42分12秒⑩鳥栖16時間42分32秒⑪唐津17時間1分12秒⑫藤津17時間2分54秒⑬三養基17時間10分49秒⑭多久17時間29分16秒⑮西松浦17時間48分21秒

佐賀市がV11

第四十一回都市対抗県内一周駅伝大会（佐賀陸上競技協会など主催）は最終日の二月十八日、唐津市から佐賀市までの12区間79.2キロで争われ、佐賀市が二日間で大量リードで、後続を寄せつけず、三日間累計15時間52分21秒で十一年連続・三十四回目の優勝を飾った。2位の杵島は3位の神埼、4位の伊万里は三年連続で変わらなかったが、5位に小城が初めて入った。

「アスパラ」ワイン

鳥栖市の鳥栖基山農協が特産のアスパラガス成分五％、アルコール分一〇％で、糖度は九％。鳥栖市の助成を受け、昨年から山梨県の会社で依頼して開発を続け、四回の試作を経て完成した。四月下旬の販売開始を前に試飲会を開いたが、「甘さ、香りともイメージ通りで、おいしい」「さっぱりして口当たりもいい」と好評だった。農協では「曲がるなど商品価値が低いものを利用し、特産品にした」と意気込んでいる。

「英国の感動」再び

「帰国記念 大英博物館県陶芸展」（県、県陶芸協会など主催）の開場式が三月十四日、佐賀市の県立美術館であった。

セレモニーには関係者九十人が出席。井本勇知事と県陶芸協会の酒井田柿右衛門会長が「国内外で高い評価を得たことで作家たちも誇りと自信をつかんだ。応援いただいた県民に、ぜひ、見てもらいたい」とあいさつ。会場には県陶芸協会会員六十二人の代表作百二十四点が展示され、出品者たちはロン



ドン・大英博物館と東京展を経て帰ってきた自作を前に手ごたえを語り合っていた。十五日から二十五日まで一般に無料で公開された。

「旧田中丸家」文化財

国の文化審議会（高階秀爾会長）は三月十六日、伊万里市立花町の大庄屋屋敷「旧田中丸家」と、小城郡津井町の「旧田中丸家（牛津町館）」を有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申した。県内の登録文化財は十五件となった。

「前田家」は母屋と三つの蔵、薪（まき）小屋水車小屋の六棟から成り、建築面積は六百三十平方メートル。最も古い

「柔道選手になりたい」「モニング娘。になりたい」など、それぞれの夢をもちながら通学している。

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏名	郵便番号	住所(自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
石丸 有三					佐賀市
副島 浩明					川副町
古田 洋介					白石町
八谷 竹嗣					神埼町
副島 俊彦					諸富町
石田 誠					大和町
山形 博司					鳥栖市
江島 信行					鹿島市
堀 宏行					武雄市

佐賀県福岡情報センターだより

●吉野ヶ里歴史公園の開園

弥生時代の生活を忠実に再現した学術分野の価値だけでなく、観光の一大拠点となり県全体が浮揚するきっかけとして活用したいとする「吉野ヶ里歴史公園」が去る4月21日に開園した。総面積は117ヘクタールだが、今回は第一期分として47ヘクタールが開園。

園内の様子を簡単に紹介すれば、昔振山系の山並みをイメージした流線型のフォルムを持つ「歴史公園センター」が玄関口。同センターを出て、「天の浮橋」を渡った先が「環濠集落ゾーン」で、弥生のクニの原風景が広がる。身分の高い人達の居住区とされる「南内郭」があり、物見櫓（やぐら）や竪穴住居が復元されている。さらに進むと二重の環濠と城柵（じょうさく）がある。ここが11棟の建物群を復元した「北内郭」で、吉野ヶ里遺跡の最重要地区。クニの首長や司祭者がいたと考えられる主祭殿（高さ16・5メートルの三層構造）が眼前にそびえ、他にも物見櫓や高床住居が立ち並ぶ。奥には有力者の墓群とされる「北墳丘墓」がある。西側に広がるのが「古代の原ゾーン」。広大な芝生が広がる「弥生の大野」や小川や池の周辺に自然の草木が茂る「弥生の水行」、遊具施設がそろった「遊びの原」などがある。

弥生の大野に生育するチガヤや、川辺に群生するガマ、アシといった草木は、発見された種子や花粉を分析して弥生時代にも存在したと推測される植物であるなど「弥生の原風景」を感じてもらえる空間づくり」に特に配慮されている。

また、家族連れなどを中心に、土笛や勾玉づくり、火おこしなどの体験学習ができるプログラムも用意されている。

「大人は昔懐かしい情景に浸ることができ、子供は自由に、思い思いの発想で、見て、触れて、楽しめる空間。時を忘れてゆつたり、のんびりと過ごせる公園」という現代人に欠かれない「憩い」も満喫できるものになっている。是非、再度お出かけください。

利用料金 大人 400円 小人 80円
駐車料金 普通車 300円
問い合わせ先 吉野ヶ里公園管理センター
☎0952・55・9333

編集デスク

平成十三年度総会号をおとどけいたします。総会の記事は水間理事に担当していただきました。毎号お世話様です。

小泉総裁の誕生にともない自民党幹事長に衆議院議員山崎拓先生が就任されました。県人会一同心からお祝い申し上げます。益々のご活躍をお祈りいたします。

前号で予告しました、宮副博昭さんの特別寄稿「一步、一步」を連載していただきます。お楽しみ下さい。

「佐賀県だより」の記事・写真については、佐賀新聞社さんから提供いただきました。ご協力ありがとうございました。

(T)

会報むつごろ

平成13年7月31日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎0955-23-5214



創業昭和24年

選ばれる昭和をめざして

ハイヤー(大・中型)

タクシー(ジャンボ・中・小型)

観光バス(中・小型)

福岡昭和タクシー株式会社

代表取締役社長 金子 宣嗣

福岡市中央区渡辺通り2-4-35

TEL 092-761-2531